

## 2. 火山の概況

(平成 16 年 12 月 9 日 ~ 平成 16 年 12 月 15 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山ではごく小規模な噴火が発生し、火映が連日観測された。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は3。

三宅島では小規模噴火が発生し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いている。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。

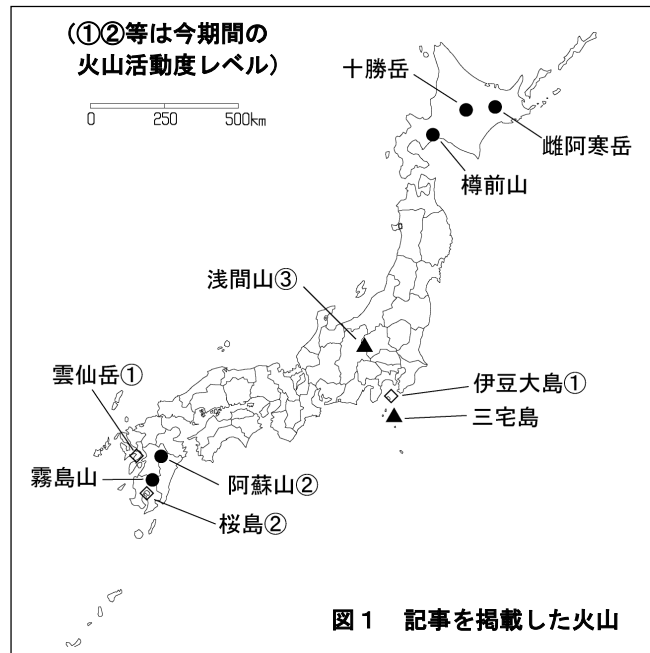


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	草津白根山	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号								
51	12/9-12/15	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●		▲		●	
50	12/2-12/8	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	◆	▲		●	◆
49	11/25-12/1	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◆	●	●	●	●	▲		◆	▲
48	11/18-11/24	③	▲	①	◆	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●		●	●	●	▲
47	11/11-11/17	③	▲	①	●	②	●	①	◇	②	◆	●	●	●		●		●	

**注1 記号の意味**

- ▲: 噴火した火山
- : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆: 前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇: その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字: 火山活動度レベル

**注2** 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● **雌阿寒岳** [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● **十勝岳** [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200m で推移した。

● **樽前山** [熱]

A 火口およびB 噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

▲ **浅間山** [噴火・噴煙・火映・地震・微動] レベル3 (山頂火口で小~中噴火の可能性)

9日 16時27分にごく小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上 200m まで上がり、北東に流れた。噴火の発生は 11月18日 以来であった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上 200m まで上がった。火映は山麓の

高感度カメラで連日観測され、10日には火口の南約8kmの軽井沢測候所で肉眼でも観測された。  
火山性地震は1日当たり52～98回、火山性微動は同0～2回観測された。

#### **◇ 伊豆大島 レベル1（静穏な火山活動）**

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データに特段の変化はなかった。

#### **▲ 三宅島 [噴火・降灰・噴煙・火山ガス・地震]**

9日06時16分に小規模な噴火が発生した。悪天のため噴煙の状況は確認できなかったが、火口縁に設置された監視カメラと、火口の西南西約3kmに設置された監視カメラに火山灰が付着するのが確認された。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上700mまで上がった。

9日に上空から行った火山ガス観測<sup>1)</sup>では、二酸化硫黄の放出量は日量1,800～2,900トンで依然として多い状態であった。

火山性地震は1日当たり24～49回観測された。

1) 東京消防庁の協力による。

#### **● 阿蘇山 [熱・噴湯現象・微動・地震] レベル2（やや活発な火山活動）**

10日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰緑色、量は約8割、表面温度の最高は68℃（前期間は69℃）で、火口壁の最高温度は133℃であった（前期間は134℃）。噴湯現象が湯だまりの中央付近、西及び南西側で観測された。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上500m（前期間600m）であった。

孤立型微動の発生回数は514回であった（前期間は437回）。火山性微動は発生しなかった（前期間は継続時間の短い微動が1回）。火山性地震は9～11日に日回数が40～50回とやや多く発生した。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

#### **◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）**

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

#### **● 霧島山 [噴気]**

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、9～10日及び13～14日に時々噴気が監視カメラで観測され、高さの最高は火口縁上200mであった。

#### **◇ 桜島 レベル2（比較的静穏な噴火活動）**

期間中、噴火はなかった（前期間もなし）。14日に火口上600mの灰白色の噴煙が観測されたが、それ以外には有色噴煙は観測されず噴煙活動も比較的低調であった。鹿児島地方气象台（南岳の西南西約11km）で降灰は観測されなかった（前期間もなし）。

**表 2 火山情報発表状況**

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 171 号	9 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、噴煙・火映・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想）。レベルは 3。
	火山観測情報第 172 号	10 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（9 日 16 時 27 分にごく小規模な噴火発生、噴煙・火映・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想）。レベルは 3。
	火山観測情報第 173 号	11 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、噴煙・火映・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想）。レベルは 3。
	火山観測情報第 174 号	12 日 16:00	
	火山観測情報第 175 号	13 日 16:00	
	火山観測情報第 176 号	14 日 16:00	
	火山観測情報第 177 号	15 日 16:00	
三宅島	火山観測情報第 687 号	9 日 09:40	9 日 06 時 16 分頃に小規模の噴火発生。火口の西南西の山麓で少量の降灰。 活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況及び上空の風の移動予想）。
	火山観測情報第 688 号 ↓（1 日 2 回発表）	9 日 16:00 ↓	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第 700 号	15 日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第 58 号	10 日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの状況、噴湯現象あり、地震やや多い）。レベルは 2。